

Ⅲ 特別活動における体験活動

1 あいさつ運動

5・6年生の代表委員と生活委員が中心となり、いじめ防止活動の一貫として「あいさつ運動」に取り組んできた。昨年度のスローガン「あたたかい言葉あふれる 名和小学校」に引き続き、今年度は「あいさつで 心つながる 名和小の“わ”」とし、活動に取り組んできた。このスローガンは、代表委員会の話合いで決定したもので、今年度はあいさつに焦点を当て、明るく元気でいじめのない学校にしようという児童の願いが盛り込まれている。



スローガンの発表



中学生と合同のあいさつ運動

毎月のあいさつ運動では、代表委員と生活委員で登校時あいさつを実施している。年に数回は中学生と合同のあいさつ運動をすることで、あいさつへの意識も高まっている。当初は、恥ずかしいなどの理由から進んであいさつできなかった児童も、回数を重ねることによって、自ら元気なあいさつができる児童が増えている。

児童集会では、いじめ防止に関するあいさつの大切さを伝える劇も行った。児童が自ら発案し台本を作り、児童目線の劇をすることにより、あいさつの大切さはもちろん、一步勇気を出して自分からあいさつをすることがよりよい人間関係作りにつながるということを伝えることができた。



劇「あいさつの大切さ」

これらのことから、本校ではあいさつ運動を進めることで、基本的な生活習慣の育成だけでなく、お互いを意識し合って互いにあたたかく接しようとする心を育てていくことにつながった。

2 花いっぱい運動

美化委員が中心となり、緑の少年団の活動の一環として学校の花壇の整備を日常的に行い、春と秋に苗植えを行うことで「花いっぱい」の学校づくりに取り組んできた。今年度は学校園だけでなく、それぞれの学年園でも「花いっぱい」に取り組んだ。



美化委員による苗植え

例えば1年生では、生活科の教科書を見ながら子ども達と話合い、自分たちで植えたい花を決めた。そのため、子ども自身がその花をしっかり育ててあげようとする姿が見られた。2年生では、子ども達に植える野菜をペアで選ばせ、植え方も相談しながら植えたことで、自分が植えた苗という意識が高まり、たくさんお水をあげよう、草とりを毎日してあげようという姿が見られた。



2・6年生による花壇の整備

また、学校全体で校庭や花壇をきれいにしようとする環境集会も行っている。このことから、自分たちの学校を自分たちできれいにしていこうとする思いを持ち、学校への愛着心を高めることにつながった。